学校番号	１０１２

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	教養としての数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・筆記用具を必ず持参すること
・課題等毎回出るため、必ず行って提出すること

2　学習の到達目標

・基本的な数学知識を身につける。
・様々な事象を数学的に考察し、思考の過程を表現できるようになる。
・数学の良さを理解し、自ら数学的な考え方を活用しようとする

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式、速さ、面積について基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。	非言語問題やパズルなどの事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。また、事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、速さ、面積非言語問題やパズルなどの考え方に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		◎就職試験やそれと同程度の基本的問題の『数学』の演習 ○重要基礎（単位、数と計算、比率と割合など） ○式と計算（展開、因数分解、無理数の計算など） ○方程式と不等式 （１次・２次・連立方程式、文章題） ○論理と命題 （命題の真偽、対偶の真偽）	a:四則計算に展開、簡単な因数分解ができる。 b:一つの文字に着目したり、置き換えたりするなどして、色々な式の見方をすることや、目的に応じて的確に式を変形する方法を考察するとともにどのような見分けをするのか説明できる。 c:実数や計算に関心を持つとともに数学の良さを認識し、それらを計算などの問題解決に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	パフォーマンス課題 レポート課題	パフォーマンス課題 態度
2学期		○速さに関する問題 ○SPI の非言語問題 （年齢算、植木算、鶴亀算、推論、代金の清算など） ○虫食い算、数列、論理、循環小数	a:速さに関する計算をできる。 b:非言語問題を見て、意味や性質について問題の解き方を考察することができる。また、代金計算などを日常生活に活用することができる。 c:数学の良さを再認識し、就職のための問題解決を活用しようとしている。	定期考査 小テスト	パフォーマンス課題 レポート課題	パフォーマンス課題 態度

2 学 期		○図形と面積（円と中心 角、円と円周角、三平方の定理 ○第１学期で学習した内容の総 復習、補充問題	a:円や面積など図形に関する性質を理解し、問題を解くことができる。 b:図形に関する性質を様々な条件より論理的に処理することができる。 c:様々な図形を日常に置き換えて数学的に処理しようとしている。	定期考査 小テスト	パフォーマンス課題 レポート課題	パフォーマンス課題 態度
3 学 期		◎数学的なパズル ○一筆書き ○迷路 ○ナンバーリンク ○数独 ○推理パズル ○イラストロジック ○四角に切る ○ぬり壁	a:様々なパズルの解き方を理解し、解くことができる。 b:様々なパズルにおいて、論理的に考察し、解決への道筋を導き出すことができる c:論理パズルに興味をもち、自ら問題に取り組もうとする。	定期考査 小テスト	パフォーマンス課題 レポート課題	パフォーマンス課題 態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度